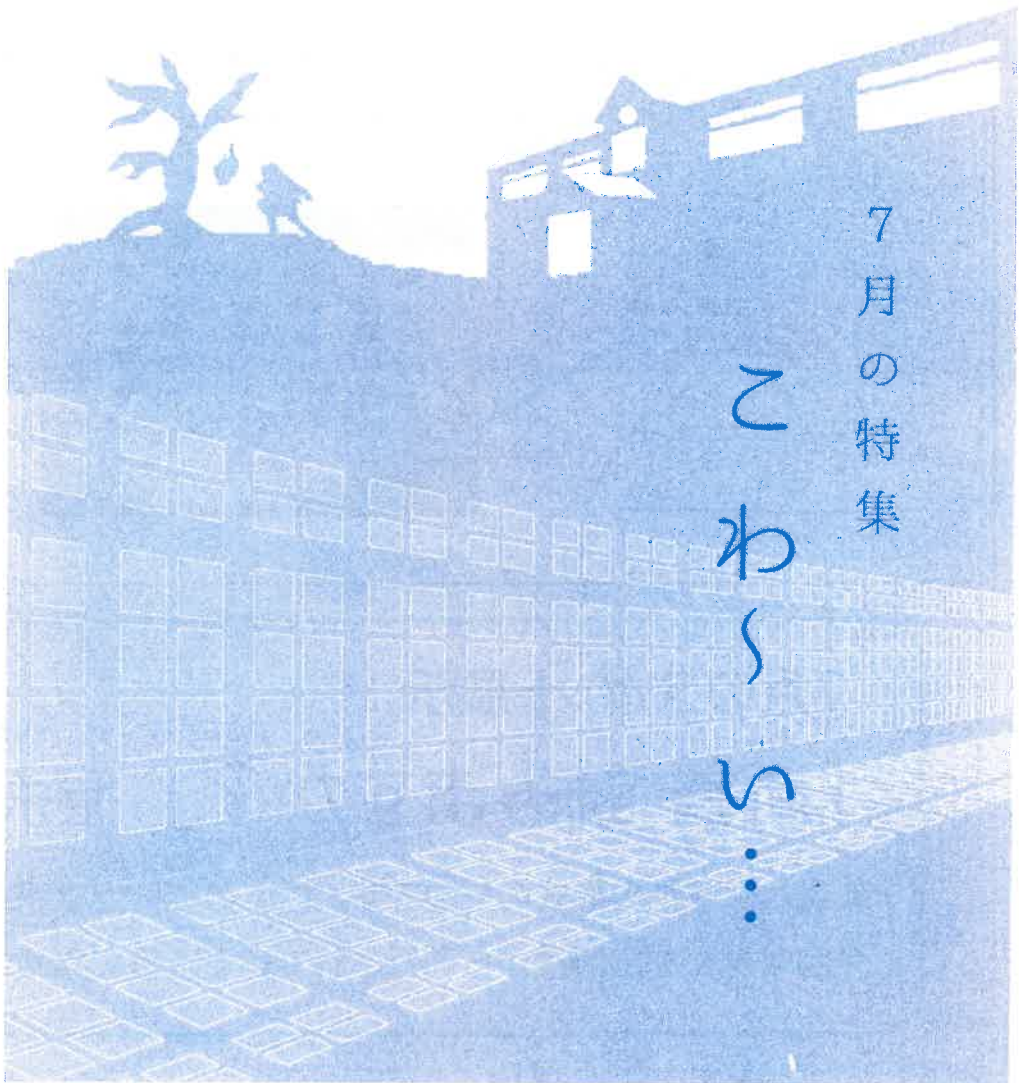


# 永福の本欄

2019/7

7  
月の特集

こ  
わ  
し  
い  
…



## 特集コーナー

# 「こわ〜い…」

### 『怖い女 怪談、ホラー、都市伝説の女の神話学』

沖田瑞穂／著 原書房

請求記号:904オ

ISBN:978-4-562-05472-5

昔話、怪談、都市伝説やホラー映画の重要なキャラクターとして登場する女性たち。彼女たちはなぜその姿で現れ、人々を恐怖の渦に呑み込んでいくのか。様々なモチーフに潜む、日本だけでなく世界中の神話との共通点を、多くの文献を用いながら解明します。なるほどと思う反面、怖さも倍増です。



### 『旅先のオバケ』

椎名誠／著 集英社

請求記号:シ001

ISBN:978-4-08-771131-8

世界各国、日本各地を旅してきた著者。本書では、これまでに泊まった「旅の宿」でのよもやま話が綴られています。まず最初は「怖い宿」。要するに「出る」宿。著者が体験したおかしな現象、科学的には説明のつかない状況…。あなたはどう思いますか？



夏定番の「こわ〜い」読み物を集めました。冷たい物やエアコンもいいですが、さらに涼しくなりたいなら、こんな本はいかがでしょう？  
怖い実話、不思議な体験、奇妙な噂、幽霊の話、怪談などなど。  
それでも読まずにはいられないお話の数々をどうぞお楽しみください。

### 『夜市』

恒川光太郎／著 角川書店

請求記号:ツ099

ISBN:4-04-873651-5

蝙蝠に誘われて訪れた夜市に、いつの間にか迷い込んでしまった裕司といずみ。この市場は何かを買わなければ抜け出せない異世界だった…。奇妙な物語にするすると誘い込まれ、予想外のラストが哀しいダークファンタジーです。同時収録の「風の古道」もおすすめ。



### 『ようこそ、わが家へ』

池井戸潤／著 小学館

請求記号:BG1

ISBN:978-4-09-408843-4

マナーの悪い人を注意した、ほんの少し正義感を出したことで名前も知らない相手から嫌がらせを受け、自分と家族が狙われる恐怖…。日常生活で起こりうる“身近に潜む悪意”が怖い。主人公の気弱なサラリーマンが仕事と家庭で起こる事件に立ち向かっていく物語。







# 新着図書コーナー



## 『僕が神さまと過ごした日々』

アクセル・ハッケ／作(ほか) 講談社  
請求記号:943ハ  
ISBN:978-4-06-220833-8

主人公の僕が、出会った老紳士は、天地創造をした神さまだった！神さまが僕に見せてくれた特別な世界にゾーヴァの挿絵がぴったりでぐっとひきこまれていきます。日々の生活で見落としている本当に大切な事を、神さまと僕の会話の中で私達に気づかせてくれます。



## 『トコトンやさしい養殖の本』

近畿大学水産研究所／編 日刊工業新聞社  
請求記号:660キ  
ISBN:978-4-526-07944-3

私達の食生活に欠かせない魚は、いつでも安価で楽しめるようになりました。その背景には、安全な飼育環境と安定した供給を実現した養殖技術の進歩があります。また養殖は、海洋資源を守ることに繋がっているのです。マグロ養殖研究で実績のある水産研究所が多方面からわかりやすく解説しています。



## 『良い加減に生きる 歌いながら考える深層心理』

きたやまおさむ／著 前田重治／著 講談社  
請求記号:A(講談社現代新書2522)  
ISBN:978-4-06-516086-2

作詞家でもある精神科医と、精神分析界の重鎮が、「あの素晴らしい愛をもう一度」や「戦争を知らない子供たち」などの歌を題材に、日本人の生き方について語り合う。そして「いい加減」は「良い加減」でもあると、今を生きるキーワードとして強調する。



## 『本にまつわる世界のことば』

温又柔／著(ほか) 創元社  
請求記号:020オ  
ISBN:978-4-422-70121-9

本にまつわる各国独特の表現を集め、その意味や使われ方を紹介しています。それぞれの表現には、ショートストーリーやエッセイと印象的な挿画が添えられ、めくるたびに、世界中の本好きと手をつなぐような不思議な感覚を覚えます。ブックガイドとしてもおすすめです。



# えいふくイベントレポート



## 杉並区子ども読書月間

### 「世界の絵本・世界のことば」

児童室では、6月の杉並区子ども読書月間に合わせた特別展示「世界の絵本・世界のことば」を行いました。来年のスポーツの祭典へ向け、様々な国と地域の絵本、日本の絵本を外国語に翻訳した絵本などを集め紹介しました。展示スペースには国旗も飾り、世界の雰囲気いっぱいの展示でした。



## 中学生職場体験

6月24日から26日まで中学生の職場体験を受け入れました。3名の中学生が図書館の仕事を体験しました。図書館はカウンターで貸出を行うだけでなく、本を棚に戻したり、雑誌を装備したり、本を修理したり、様々な仕事があることを実感できたようです。意外にも体力仕事だったとの感想もありました。毎年何校かの職場体験を受け入れています。利用者の皆さまのご協力、ありがとうございました。



## 7月のスポット展示

### 「新書 読みますか？」 展示期間:7月5日(金)~7月31日(水)

新書とは書物の形式の一つです。主にノンフィクションを取り扱い、その内容は多岐に渡ります。今回は様々な出版社から刊行されている新書を集めました。興味のあるものをお気軽にご覧ください。

永福図書館からの

## お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時  
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

7月の休館日

7月4日(木)、18日(木)

大人も参加  
できます♪

読書チャレンジ2019

### 「なつやすみスタンプラリー」



本を借りたり、イベントに参加したり、おすすめの本を書いたりして、  
1日1つスタンプをもらおう！ スタンプ5つで缶バッジをプレゼント♪

**【期間】7月20日(土)～9月1日(日)まで**

永福かがく研究所 (児童向けイベント)

2019年の課題「光るスライムをつくろう!」

日時：7月25日(木) 10:30～12:00

定員：20名(小学生のみ)

申込：7月9日(火) 9:00～



永福図書館1Fカウンターまたは電話(3322-7141)にて受付。

※お電話で申込みの方は、開催前日までに参加券の受取が必要です。

### 館内での飲食は、基本的に禁止です。

ただし、ペットボトルや水筒のような、密閉できる容器での水分補給  
はしていただくことができます。飲み終わったら必ずフタを閉め、こ  
ぼしたり、水滴で図書館資料などが濡れないようご注意ください。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2019年7月号(通巻264号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。